

# 令和2年度

## 決算特別委員会付属資料 (一般会計)

### 健康福祉部社会福祉課

#### 【資料】

- ① 身体障害者福祉協議会 決算書 . . . . . P 1 ~ 2
- ② 手をつなぐ育成会 決算書 . . . . . P 3
- ③ 特定非営利活動法人ポプラ (アルファ作業所) 決算書 . . . . . P 4 ~ 5
- ④ 社会福祉法人太陽の家 (京都福祉ホームひまわり) 決算書 . . . . . P 6 ~ 7
- ⑤ 生活保護認定及び給付状況 . . . . . P 8 ~ 9
- ⑥ 生活困窮者自立支援事業の実施状況 . . . . . P 10 ~ 12

令和2年度加東市身体障害者福祉協議会決算書

収入総額 799,904 円  
 支出総額 452,048 円  
 差引残額 347,856 円

収入の部

(単位:円)

科目	項目	本年度予算額	決算額	差引	摘要
助成金	市助成金	450,000	396,063	△ 53,937	市助成金(450,000円-53,937円返金)
	その他助成金	140,000	37,985	△ 102,015	スポーツ教室(60,000円-22,015円返金)
会費収入	会費	120,000	110,000	△ 10,000	一人1000円×110名分
負担金	負担金	110,000	8,000	△ 102,000	GG大会等参加費収入
雑収入	雑収入	165	3	△ 162	利息収入
繰越金	繰越金	247,835	247,853	18	令和元年度繰越金
合計	収入合計	1,068,000	799,904	△ 268,096	

支出の部

(単位:円)

科目	項目	本年度予算額	支出済額	差引	摘要
事業費		580,000	22,118	557,882	
	会議費	50,000	1,284	48,716	役員会開催諸費
	研修費	130,000	0	130,000	
	交流費	400,000	20,834	379,166	GG大会開催経費(スポーツ教室)
需用費		223,000	173,010	49,990	
	消耗品費	20,000	15,859	4,141	事務用品購入費等
	印刷費	33,000	41,790	△ 8,790	資料印刷代
	旅費	50,000	18,000	32,000	各大会・会議等旅費諸費
	委託費	30,000	8,026	21,974	バス運転手賃金、ガソリン代
	通信運搬費	80,000	79,335	665	切手、郵送料、振込手数料等
	慶弔費	10,000	10,000	0	香料1名分
負担金	負担金	150,000	93,000	57,000	兵身協北播ブロック団体負担金等
諸謝金	諸謝金	70,000	0	70,000	
備品購入費	備品購入費	20,000	118,800	△ 98,800	ニュースポーツ道具、コロナ対策用品購入
予備費	予備費	25,000	45,120	△ 20,120	会員への粗品(ペンライト)
合計	支出合計	1,068,000	452,048	615,952	

## 監 査 報 告

令和2年度「加東市身体障害者福祉協議会」事業報告並びに決算報告について、帳簿・関係書類等を精査致しましたところ、適正に処理されておりましたことを報告致します。

令和3年4月15日(木)

監 事

監 事

# 令和2年度加東市手をつなぐ育成会決算書

## 【収入の部】

科目	当初予算額	決算額	増減	備考
会費	63,000	63,000	0	7000円×9名
補助金	100,000	100,000	0	加東市補助金
委託金収入	100,000	100,000	0	加東市社会参加促進事業
事業収入	10,000	0	△ 10000	
雑入	2,000	11,601	9601	みなと銀行普通預金利息、こころの友助成金、北播磨ブロック研修中止により助成
繰越金	83,641	83,641	0	令和元年度繰越金
合計	358,641	358,242	△ 399	

## 【支出の部】

科目	当初予算額	決算額	増減	備考
事務費	53,000	58,654	5,654	
交通費	10,000	0	△ 10,000	
需用費	23,000	19,300	△ 3,700	印刷代、コピー用紙
通信費	20,000	39,354	19,354	郵送代、切手代
事業費	303,100	198,384	△ 104,716	
会議費	6,000	0	△ 6,000	
研修費	20,000	0	△ 20,000	
行事費	200,000	131,284	△ 68,716	フラワーアレンジメント、クリスマス会
分担金	32,000	32,000	0	県育成会分担金
機関誌購読費	35,100	35,100	0	手をつなぐ3900円×9名
部会運営費	10,000	0	△ 10,000	
予備費	2,541	0	△ 2,541	
予備費	2,541	0	△ 2,541	
合計	358,641	257,038	△ 101,603	

収入合計	358,242
支出合計	257,038
差引	101,204 ※令和3年度へ繰り越します。

令和2年度加東市手をつなぐ育成会会計について、帳簿・関係書類等を精査いたしましたところ、適正に処理されておりましたことを報告いたします。

令和 3年 4月 16日

監事

## 令和2年度 歳入 歳出 決算書

## 歳入の部

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
加東市補助金	6,696,000	加東市
作業収入	1,377,824	加東市、社協、寿紙管、Y&F他
寄付金		黄色いレシート還元金他
雑収入	348	預金利子他
負担金		利用者負担金
会費	18,000	年会費
繰越金	3,689,417	
加東市支出補助金	300,000	加東市新型コロナ拡大防止対策補助金 (需要者・指導用材料費科目で利用)
合 計	12,081,589	

※歳入の部の合計額と歳出の部の合計額は一致すること

## 歳出の部

(単位:円)

勘定科目		金額	対象経費内訳	
大科目	小科目		対象経費	説明
指導員等の 人件費	報酬・給料等	4,276,614	4,276,614	賃金を含む
	職員手当等	143,600	143,600	通勤手当等
	社会保険料	869,711	869,711	社会保険料
	報償費	0		
旅費	旅費	6,000	6,000	旅費、日当
需用費	指導用材料費	531,577	231,577	指導にかかる材料費等 コロナ拡大防止対策補助金△300,000
	光熱水費	288,917	288,917	電気代、ガス代、水道代
	その他の需用費	217,319	217,319	消耗品費、燃料費、車両費等
役務費	役務費	280,321	280,321	通信運搬費、保険料、支払手数料
使用料	建物等使用料	240,000	240,000	家賃・地代等
	その他使用料	142,560	142,560	コピーリース料金、車借上げ料
販売用材料費	販売用材料費			
備品費	備品費	373,200		
工賃	支払工賃	1,762,850		
その他	税・慶弔費等	141,932		
次期繰越		2,806,988		
合計		12,081,589	6,696,619	

上記のとおり相違ないことを証明します。

なお、予算に過不足がある場合は、補正することを確認します。

令和3年3月31日

団体名 特定非営利活動法人ポプラ

代表者名 理事長

令和2年度 歳入歳出決算書

歳入の部

(単位：円)

歳入科目	金額	備考
私的契約利用料収入	7,647,765	
補助金事業収入	5,168,000	うち加東市より 118,000円
雑収入	111,389	
施設整備等補助金収入	0	
サービス区分間繰入金収入	4,388,922	
合計	17,316,076	

歳入の部と歳出の部の合計は一致すること。

歳出の部

(単位：円)

勘定科目		金額	対象経費内訳	
大科目	小科目		対象経費	備考
人件費	報酬	0		
	給料、賃金、職員手当等	2,893,650	2,893,650	
	法定福利費	473,304	473,304	
旅費	旅費	0	0	
修繕費	建物修繕費	2,049,215	2,049,215	
需用費	光熱水費	2,444,630	2,444,630	
	事務消耗品費	1,032,434	1,032,434	
	燃料費	0	0	
	印刷製本費	0	0	
役務費	通信運搬費	34,853	34,853	
	手数料	491,425	491,425	
使用料 賃借料	土地使用料・土地賃借料	0	0	
	建物使用料・建物賃借料	0	0	
	その他使用料	2,276,593		
備品購入費	備品購入費	2,236,714	2,236,714	
その他経費	保険料	197,786		
	保守料	1,161,430		
	租税公課費	400		
	渉外費	0		
	業務委託費	1,937,340		
	福利厚生費	10,091		
	雑費	76,211		
合計		17,316,076	11,656,225	

上記のとおり相違のないことを証明します  
令和3年3月31日

団体名  
代表者

社会福祉法人 太陽の家  
理事長

## 生活保護認定及び給付状況

### ■ 生活保護の動向

#### ① 保護世帯・人員等の変動

加東市の保護世帯・人員等については、平成29年度以降、微減傾向にありましたが、令和2年度は、開始件数（開始理由：傷病、失業、手持金の減少等）が、廃止件数（廃止理由：高齢者の死亡、就労による収入増加等）を僅かに上回りました。全国や阪神間の動向と近い数字となっております。

#### 【保護世帯数等の動向】

年 度	3 月末日現在			申請・開始・廃止（年度累計）		
	保護世帯	人員	保護率	申請	開始	廃止
平成29年度	121世帯	136人	0.34%	29件	26件	26件
平成30年度	110世帯	123人	0.30%	16件	13件	24件
令和元年度	109世帯	122人	0.30%	19件	15件	16件
令和2年度	110世帯	120人	0.29%	21件	18件	17件

〈参考〉 令和3年3月末日現在 保護率：兵庫県（1.84%）、県所管〔神戸市除く〕（1.45%）、加東市は低い方から4/35位  
 尼崎市（3.86%）～宝塚健康福祉事務所（0.15%）

#### 【世帯類型】

（単位：世帯、%）

年 度	高齢世帯	母子世帯	傷病者世帯	障害者世帯	その他世帯
平成29年度	86	1	9	18	7
	71.1%	0.8%	7.4%	14.9%	5.8%
平成30年度	82	1	9	16	2
	74.5%	0.9%	8.2%	14.6%	1.8%
令和元年度	78	2	8	16	5
	71.6%	1.8%	7.3%	14.7%	4.6%
令和2年度	79	2	8	16	5
	71.8%	1.8%	7.3%	14.6%	4.5%

## ② 相談件数等

相談件数については、平成29年度は57件、平成30年度は59件、令和元年度は84件、令和2年度は85件となっており、年々、増加傾向にあります。

令和2年度の相談内容は、世帯主の収入の減少の相談が多くを占めています。傷病や収入減少による相談が多く、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少に至ったといった相談もありました。

## ③ 生活保護費の支給状況

生活保護費の総支給額については、毎年度、2億円を超える事業費となっています。その中でも約6割以上を医療扶助費が占めています。生活保護受給者は原則、医療保険に加入できないので、10割の医療費を支払うため、長期入院患者数や手術などの件数が増えると、支給額が増えます。ジェネリック医薬品の使用促進、頻回受診管理等を管内の医療機関、薬局に協力を求めるとともに、被保護者に対しても、パンフレット等の配布により周知を行っています。令和3年1月からは、被保護者健康管理支援事業として、予防検診の勧奨や生活習慣病の方への健康指導を取り組むことになり、対象の方に対して指導を行い、医療扶助費の適正化に努めています。

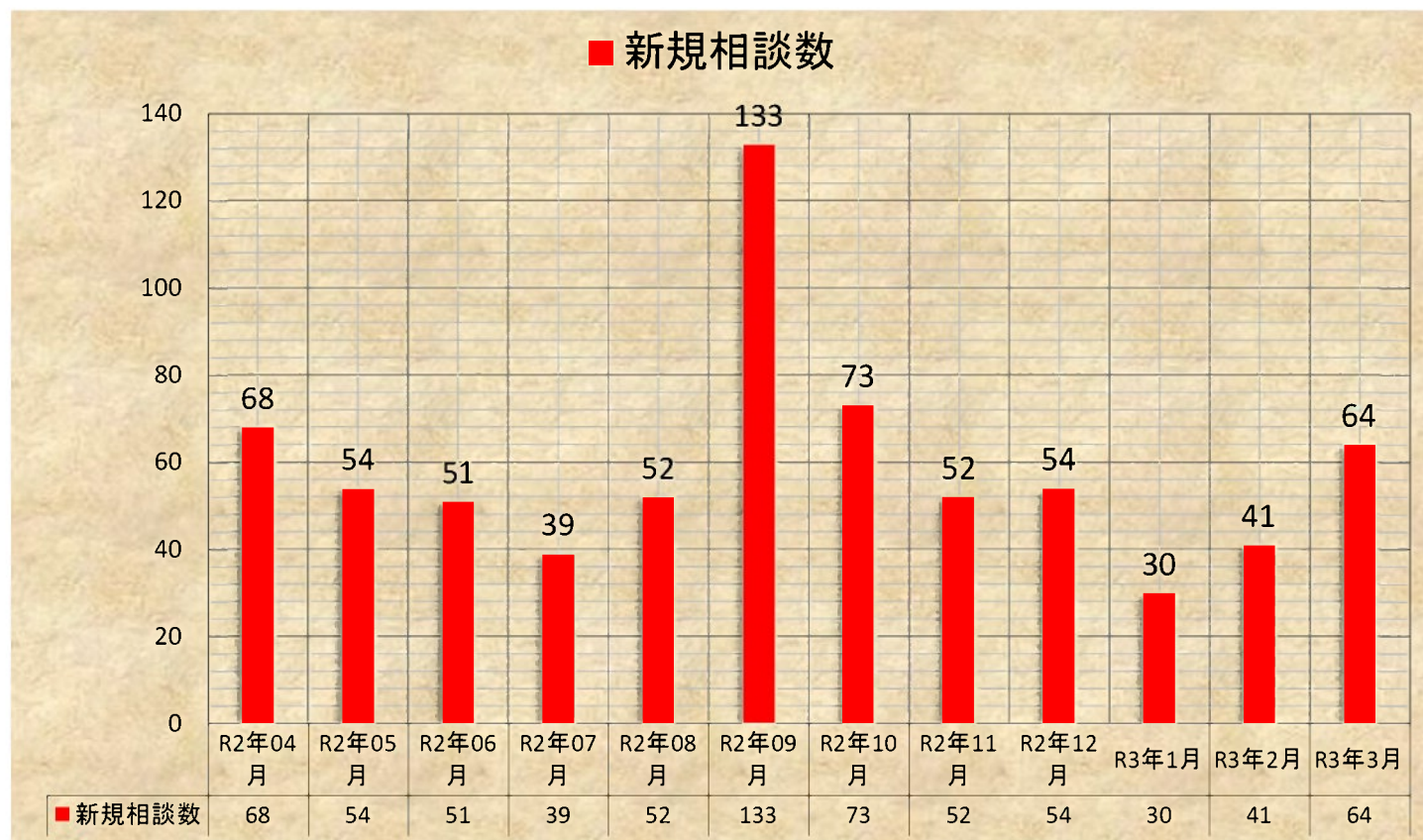
## ・生活保護費の支給状況（国・県負担金対象）

（単位：円）

年度	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	医療扶助	介護扶助	施設事務費	その他の 扶助費	計
平成29年度	58,980,665	23,393,644	333,770	150,167,990	3,014,179	5,548,886	355,720	241,794,854
	24.4%	9.7%	0.1%	62.1%	1.2%	2.3%	0.2%	100.0%
平成30年度	59,768,944	22,681,391	201,847	164,883,784	7,388,685	9,137,783	976,013	265,038,447
	22.6%	8.6%	0.1%	62.2%	2.8%	3.4%	0.3%	100.0%
令和元年度	53,514,233	17,612,976	65,990	167,490,621	4,114,488	7,117,028	520,780	250,436,116
	21.4%	7.0%	0.0%	66.9%	1.7%	2.8%	0.2%	100.0%
令和2年度	52,692,689	18,256,502	156,030	166,846,824	3,181,418	9,239,755	352,337	250,725,555
	21.0%	7.3%	0.1%	66.5%	1.3%	3.7%	0.1%	100.0%

## 令和2年度生活困窮者自立支援事業の実施状況

月別新規相談数	
日付	新規相談数
R2年04月	68
R2年05月	54
R2年06月	51
R2年07月	39
R2年08月	52
R2年09月	133
R2年10月	73
R2年11月	52
R2年12月	54
R3年1月	30
R3年2月	41
R3年3月	64
合計	711

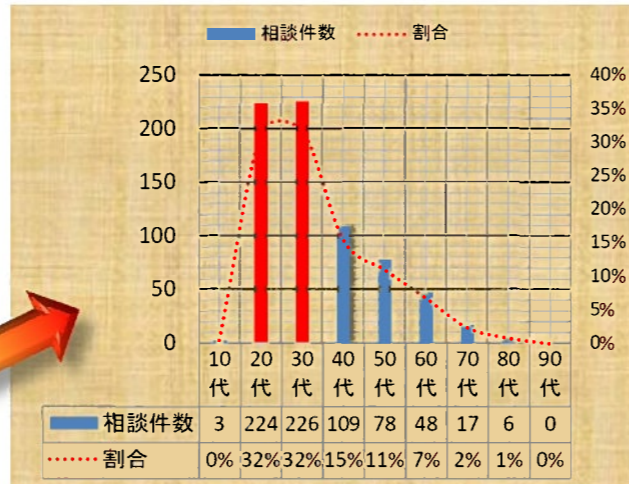


# 令和2年度生活困窮者自立支援事業の実施状況

## ① 年代比率

年代	相談件数	割合
10代	3	0%
20代	224	32%
30代	226	32%
40代	109	15%
50代	78	11%
60代	48	7%
70代	17	2%
80代	6	1%
90代	0	0%
計	711	100%

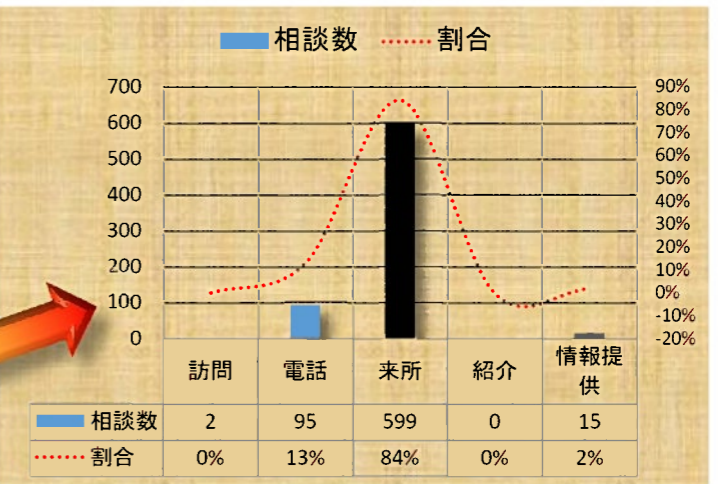
相談者の年代比率は20代～30代の相談者が最も多い。R1年度は30～50代からの相談が最も多かったが、令和2年度はコロナの影響のため若年層からの相談が増えた。



## ② 相談経路

相談形態	相談数	割合
訪問	2	0%
電話	95	13%
来所	599	84%
紹介	0	0%
情報提供	15	2%
計	711	100%

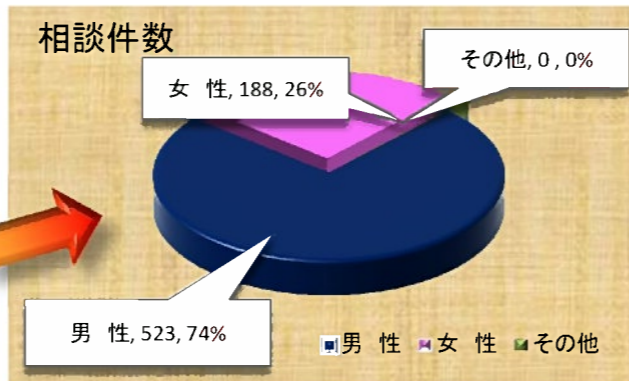
相談経路は、来所相談が84%を占めている。貸付や住居確保給付金の申請のため、来所相談が多くなったと思われる。また、大幅に増加した来所相談の対応のため、訪問については、ほとんどできなかった。  
情報提供は、庁外では、民生・児童委員、医療機関、ハローワーク、庁内では、税務課や保険医療課から提供があった。



## ③ 性別比率

性別	相談件数	割合
男性	523	74%
女性	188	26%
その他	0	0%
計	711	100%

R1年度の相談の性別比率は、男性55%、女性45%であったが、令和2年度は男性からの相談が74%を占めている。  
※その他=LGBT（レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー）

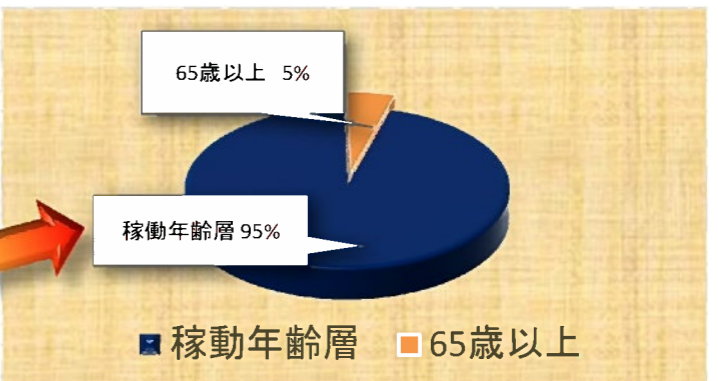


## ④ 年金受給までの稼働年齢比率

年代	相談数	割合
稼働年齢層	677	95%
65歳以上	34	5%
計	711	100%

コロナの影響で稼働年齢層の相談が増加した。R1年度は、65歳以上の方からの相談が全体の27%を占めていたが、稼働年齢層の相談が増えたことで、令和2年度の65歳以上の方からの相談は5%と減少した。

相談割合は大幅に減少したが、R1年度の65歳以上の方からの相談件数は、35件であり、R2年度とは、変わりはない。

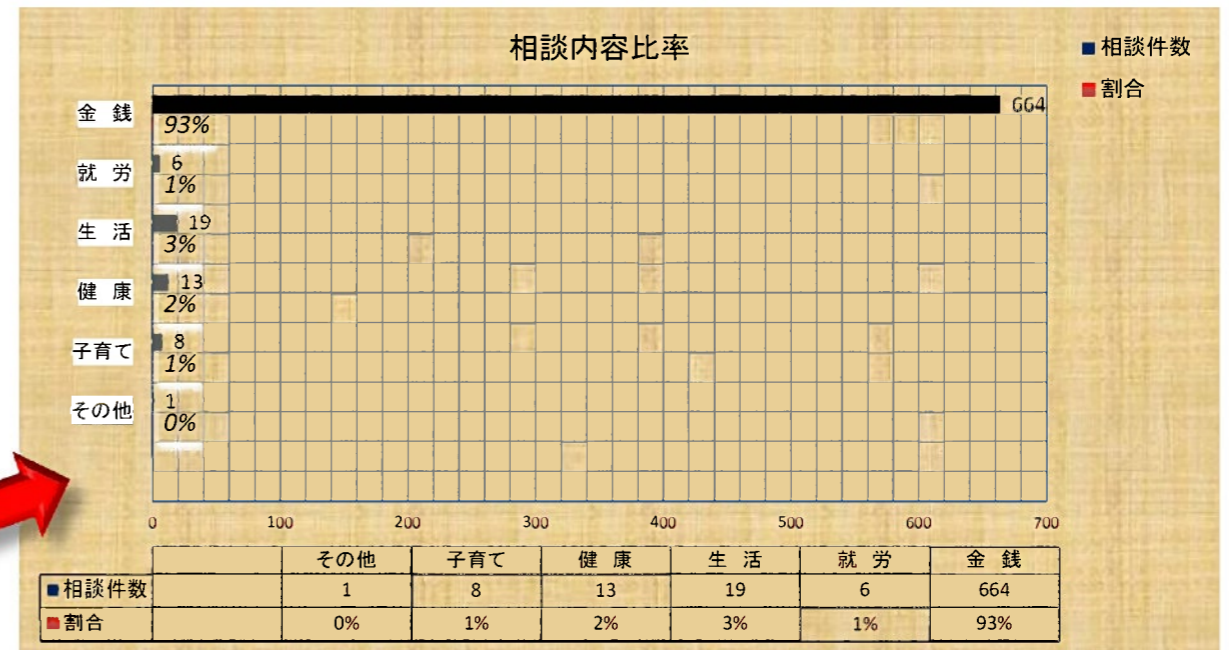


## ⑤ 主相談内容比率

主相談内容	相談件数	割合	相談内容
金 銭	664	93%	生活福祉資金、住居確保給付金
就 労	6	1%	解雇・失業による就労不安（ハローワーク・若サポと連携）
生 活	19	3%	ひきこもり・介護・家事・DV・近隣とのトラブル等・ホームレス・家族関係
健 康	13	2%	病気・障害に関する相談・精神疾患・大人の発達障害
子育て	8	1%	いじめ・養育・虐待・発達障害・子どもの貧困
その他	1	0%	セクシャルマイノリティ・外国人滞在者
計	711	100%	

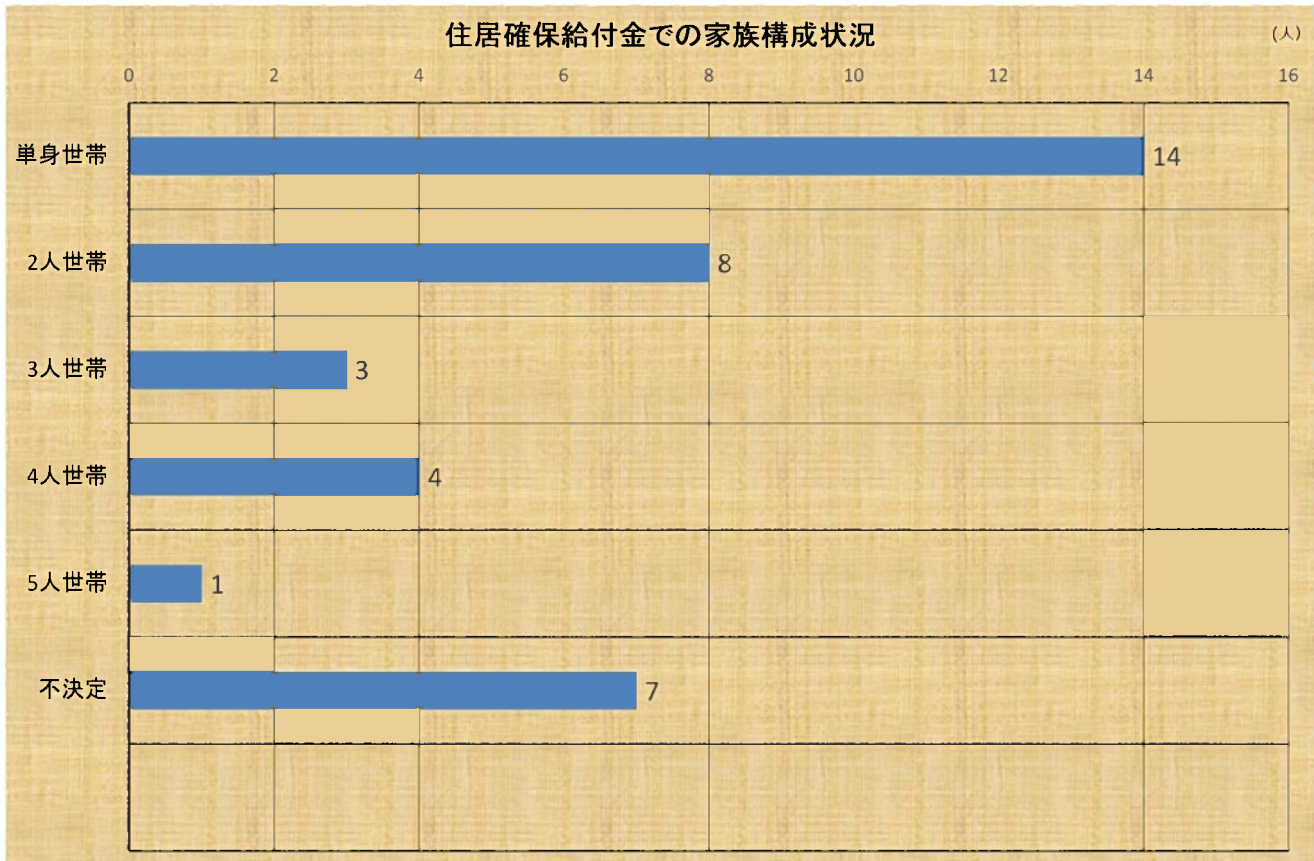
相談内容の9割以上が、「金銭」の相談になっている。  
相談の多くが生活福祉資金の貸付相談（643件）と住居確保給付金の相談（144件）であった。（重複あり）  
コロナの影響を受けた方への支援としては、生活福祉資金の貸付が、令和3年8月末、住居確保給付金については、令和3年9月末まで緩和措置が継続されることとなっている。  
令和2年度の新規相談数は711人（延べ相談件数は、2,688件）

※平成29年度の新規相談数は97人（延べ相談件数：1,103件）  
平成30年度の新規相談数は92人（延べ相談件数：1,441件）  
令和元年度の新規相談数は131人（延べ相談件数：1,613件）



## 令和2年度生活困窮者自立支援事業の実施状況

⑥ 住居確保申請者数						
単身世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	不決定	計
14	8	3	4	1	7	37
38%	22%	8%	11%	2%	19%	100%



⑦ 月別外国人相談数	
日付	外国人相談数
R2年04月	1
R2年05月	4
R2年06月	15
R2年07月	16
R2年08月	21
R2年09月	109
R2年10月	56
R2年11月	39
R2年12月	41
R3年1月	19
R3年2月	15
R3年3月	38
合計	374

